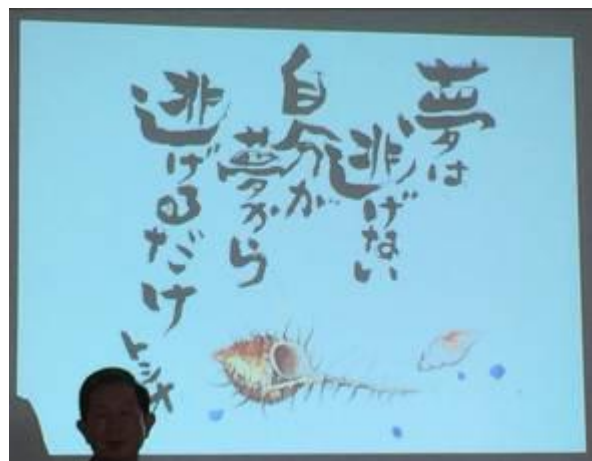


# ウッディチキン / 静岡例会

## 「例会レポート 117」

日 程	2016年7月6日(水)
会 場	『フリーエース美容学校』 静岡県藤枝市前島 1-7-10 Bivi 藤枝 2F
参加者数	約 70 名 (内県外 27 名)
講演会内容	PM19:00~21:00 ・ウッディチキン静岡代表 クアトロ 渡辺菊人さん挨拶 ・ウッディチキン伊藤豊代表の話  ・読書のすすめ 清水 克衛様 講演  ・理容世界チャンピオン 田中トシオ様 講演
親睦会	PM21:30~ B-WORLD にて



ウッディチキン事務局

文章・写真提供 / 向井 健介

ガリガリ君が1分で溶けるぐらいのアツイアツイ日差しの中、  
総勢 70 名の仲間が静岡は藤枝のフリーエース美容学校に集まりました！

総会の前に、全国の支部長が集まり実行委員会を開催し来年度のスケジュールや近況報告など情報交換  
をしました。2019年のスケジュールなど後日改めてご報告させていただきます。



司会は、ヒュッゲの仲亀早紀さんと平井秀乙さんの2名でいい緊張感の中テンポよく進めていただきました。



最初に、ウッディ静岡代表のクアトロの渡辺菊人さんから挨拶がありました。

今年の静岡支部のテーマは、「匠の心」ということで年始に読書のすすめの清水さんに講演をしていただき  
本を読むことはどういうことなのかを学ばせていただき活動を深めてきました。

その中で、読書行動感想文を2名のスタッフからのちほど発表させていただきます。

その1

ウッディチキン代表 伊藤さんからの挨拶&現状報告



・熊本地震について

今までの阪神大震災や東北の地震などの経験から2日後から動くことができました。

3つの大きな地震の経験が大きな気づきや学びを与えてくれています。

これからも今までの経験を生かして、ウッディチキンのネットワークで迅速に対応出来るようにしていこう！

今後の支援について、6月4日に久保先生と現地に入り熊本メンバーの方と話し合いの場を作りました。

現状、まだまだ回復のめどが立っておらずブルーテントがたくさんあります。

家屋の被害状況を調べる審査員の数が足りておらず、いまだ修繕するか否か前に進めない状況で家がある家族のところで生活をしているスタッフがいます。

とにかく足を運んでみて深刻さがより分かった・・・今後も募金活動を続けましょう。

5月末までに集まった180万円の使い道は、美容関係者で被害状況を3段階に分け直接手渡せるよう熊本メンバーに託しました。

#### ・フィリピンボランティアについて

アヤタ族のブライダル支援について、7月に9人のメンバーで視察に行く  
帰国後報告します。

ウッディメンバーは、誇り高き集まりであってほしい、どんな時でも弱者を救えるような志や行動をしていきましょう！

#### その2

読書行動感想文のプレゼン テーマ「匠の心」

RASAの竹澤 伊津見さん

課題図書「悲しみの秘儀-人生には哀しみを通じてしか開かない扉がある」若松英輔 著



And-Aの山口 遥さん

課題図書「まず、人を喜ばせてみよう」清水克衛 著



お二人とも、いろんな体験を通じてそして本を通じて感じたことをとても聞き取りやすい発表でした。

聞き手の私たちのほうに強くてやさしい気持ちがまっすぐ届きました。

いい空気感で会場内つまれました。おそらく聞いた人たちは、本が読みたくなったはず！

### その3

#### 講演 読書のすすめ 清水克衛さま

##### プロフィール

書店「読書のすすめ」代表 NPO 法人読書普及協会顧問

東京生まれ。大学在学中、司馬遼太郎の『竜馬がゆく』を読み、突如として商人を志す。大学卒業後、大手コンビニエンスストアの店長を10年間つとめた後、「本をすすめる本屋をやろう」と一大決心し周りの猛反対を押し切り、1995年に書店「読書のすすめ」を東京都江戸川区・篠崎にて開業。立地の悪さを顔晴るバネにし、汗と智恵を出しきって商いを続けた結果、全国からお客さまが押し寄せる繁盛書店となる。「読書のすすめ」の売れ筋本から、全国でのベストセラー本が生まれる現象が続出、出版流通業界内で熱い注目を浴び続けている。2003年にはNPO法人「読書普及協会」を設立。本との出会い、人との出会い、出来事との出会いを提供しながら「良質な御縁から生まれる成幸の法則」についての講演活動を続けている。

いろんな人生経験をした清水さんの講演は、わかりやすくそして笑いありはっと気づかされる内容で、あっという間に時間が過ぎました・・・  
もっと続きを聞きたい状況で終了しました。

---

#### 「逆のものさしを持つとう」清水克衛著

いつもと違う視点を持つことで、得られるものは違ってくる。

何も行動せず、周りの情報だけを信じて、生かす知識にはならない。

「世間では」「普通は」「まわりは」といった不明確な「ものさし」に人は振り回されすぎです。

自分で行動し、招いた迷いも行動も立派な「ものさし」を作る過程です。

#### 「悲しみの秘儀」若松英輔著

人は、悲しみが深いほど深く物事を考えられるし、本当に人の気持ちがわかる。



#### 「耆に学ぶ」ろうにまなぶ

いかにして老いるかというテーマの本の中に、

毒を食らえというテーマがある。

社会の毒・精神的な毒・食べ物の毒

3つの毒は、陰しく苦しい体験の中に学びがありそのプロセスで人は成長する。

そうすれば、素敵な年のとりかたができます。

---

### その3

講演 田中トシオ先生

#### プロフィール

全国理容競技大会 第35代日本チャンピオン。1992年10月「第24回世界理美容競技大会／東京大会」では、「アーティスティック部門」、「スカルプチュアド・クラシカル部門」、「コマーシャル・イン・ファッション部門」の3部門すべてに個人・団体優勝し、世界でただ一人の「グランドスラム世界チャンピオン」となる。その後、OMC世界理美容機構の役員として、選手権のゼネラルコミッショナーや欧米、アジア、南アフリカ等世界各国でセミナー指導している。髪ingから、7人の日本チャンピオン、3人の世界チャンピオンが誕生している。2006年 卓越技能章（現代の名工）受章 2007年 黄綬褒章受章

現在は、髪ing会長 そして、書道家・エッセイストとしての著作も出版している

---

新潟の山古志時代（小学生のころ）のあだ名は「手ぼっこ」と「チョロ助」、新潟弁で不器用で集中力のない子供だった。そして貧しい家で、奉公に行くなどつらい思いをした・・・



そして自分の意志ではなかったが、理容師になるも当初は自分の技術に自信がなく、せめて人並みになりたいとコンテストに挑戦するも、毎年5~7回出場しても入賞すらせず、36歳まで100敗ぐらいした。。。でも諦めず、どうすれば優勝することができるか考え抜いた。

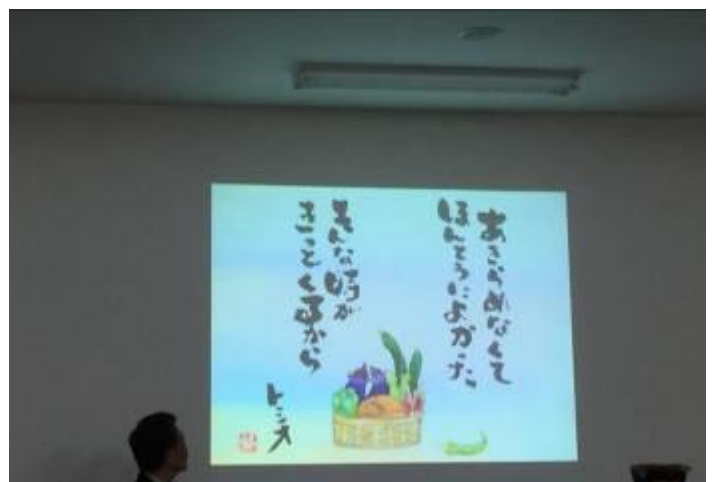
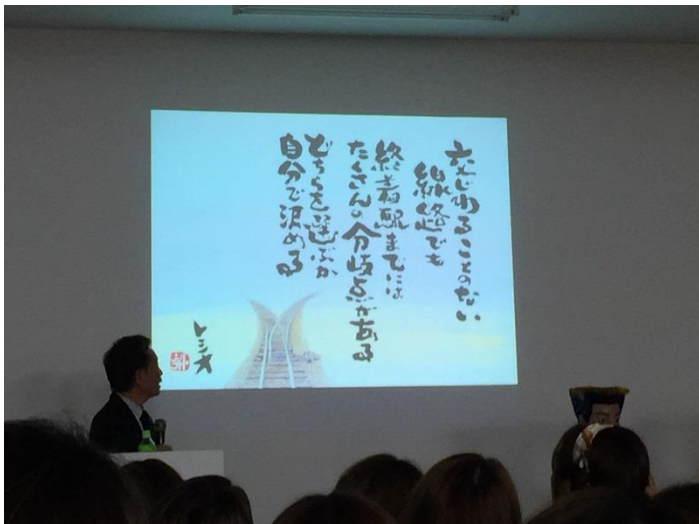
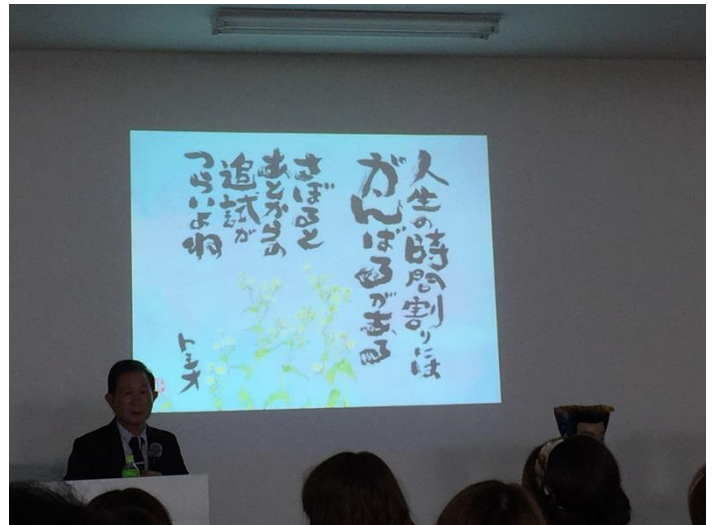
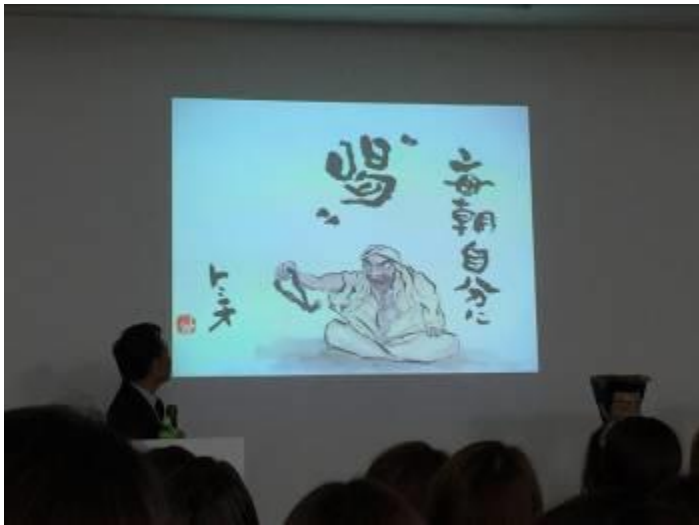
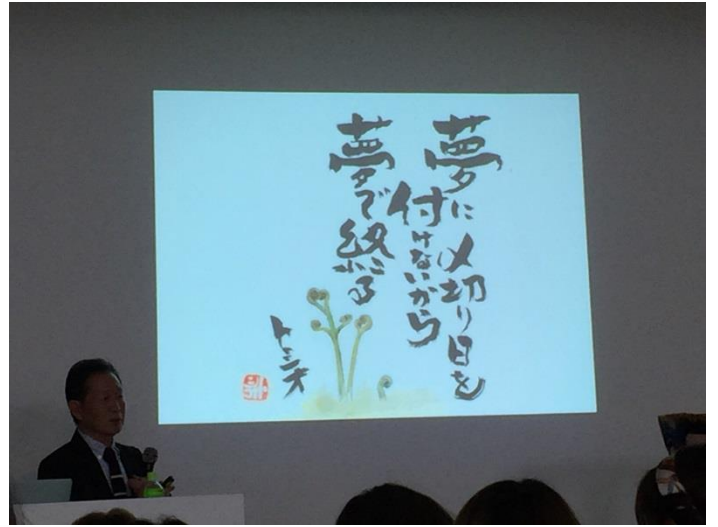
37歳の年に、5回のコンテストすべてに優勝し念願の日本チャンピオンになる。

その後世界に挑みます。世界で優勝するため考え抜いた拳句、お店を2年間休むことを選択した。当時大忙しだったお店を、スタッフを信じて任せることができた。

一人で個人合宿をして365日1日10時間トレーニングして、1992年世界理美容選手権にて個人種目3冠し、一番こだわっていた団体日本チームで金メダルを取ることができた。とてもうれしかった。

「どんな不器用でも落ちこぼれでも、自分自身が変わればだれでも成功できる。」

「夢は逃げない、自分が夢から逃げるだけ」



## 親睦会

アンドAの山内さんのところのB-WORLDに移動して盛大に開催していただきました。

あっという間に時間が過ぎました！



以上です。

ありがとうございました！

次回は、サマーカレッジ in でお会いしましょう！